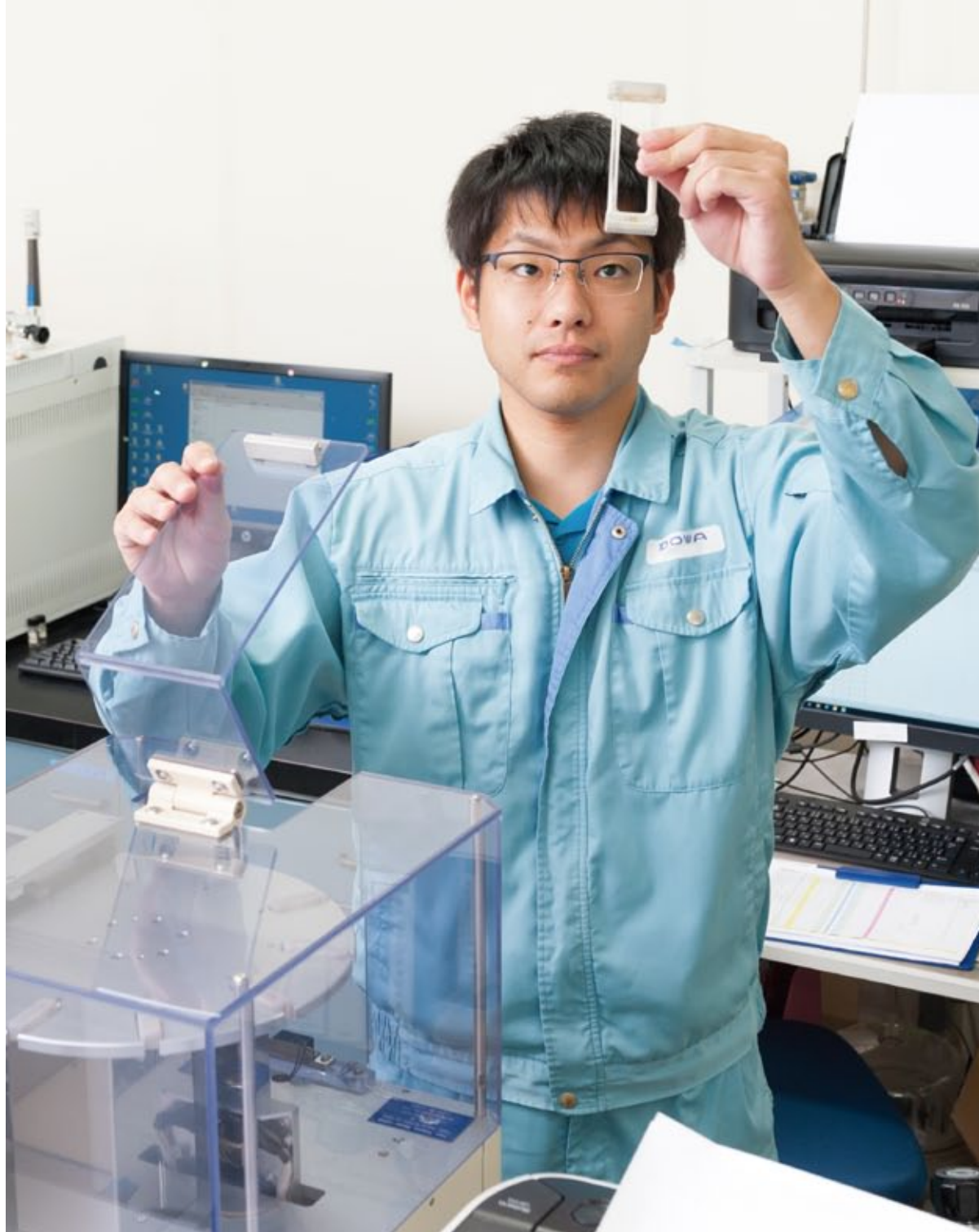


第118期
中間
報告書

株主のみなさまへ

2020 / 12 / Vol.60



DOWA

証券コード:5714

連結決算ハイライト

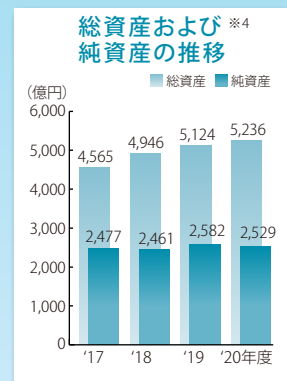
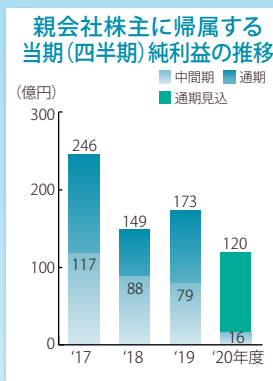
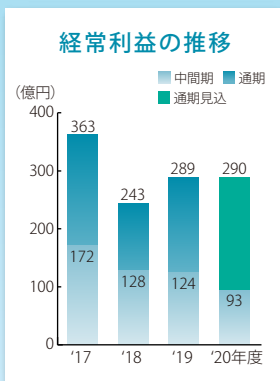
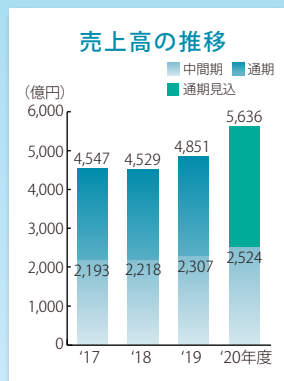
※本冊子の数値は、単位未満を切り捨てて記載しています。

	2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)	2020年度見込 (2021年3月期)	2020年度中間期 (2021年3月期中間期)
売上高 (億円)	4,547	4,529	4,851	5,636	2,524
営業利益 (億円)	309	186	259	313	126
経常利益 (億円)	363	243	289	290	93
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (億円)	246	149	173	120	16
総資産 (億円)	4,565 ^{※3}	4,946	5,124	—	5,236
純資産 (億円)	2,477	2,461	2,582	—	2,529
1株当たり当期純利益 (円)	417.21	253.22	293.92	202.76	—
1株当たり配当金 (円)	90	90	90	90	—
1株当たり純資産 (円)	4,035.06	4,008.03	4,191.09	—	4,072.78
総資産経常利益率(ROA) ^{※1} (%)	8.4 ^{※3}	5.1	5.8	—	—
自己資本当期純利益率(ROE) ^{※2} (%)	10.8	6.3	7.2	—	—
設備投資額 (億円)	246	240	377	334	163
減価償却費 (億円)	172	186	192	203	91
有利子負債 (億円)	1,098	1,352	1,340	—	1,386

※1 ROAは経常利益を期中平均総資産で割って計算しています。

※2 ROEは親会社株主に帰属する当期純利益を期中平均自己資本で割って計算しています。

※3 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)を2018年度の期首から適用しており、2017年度については当該会計基準を遡って適用した後の数値です。



※4 '20年度については中間期実績



2020年度(2021年3月期) 中間期の連結経営成績と 今後の取り組み

代表取締役社長
関口 明

2020年度中間期の連結経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020年度(2021年3月期)中間期における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていた自動車関連製品およびサービスの販売は回復に転じました。情報通信関連製品の販売は第5世代移動通信システム(5G)向けが引き続き堅調であり、また、新エネルギー関連製品の販売は増加しました。環境・リサイクル関連サービスの受注は廃棄物、リサイクル原料ともに概ね前年同期並みでした。相場環境については、為替は106円/米ドル前後で推移しました。金属価格は金、銀が継続して上昇し、亜鉛、銅は上昇に転じました。

このような状況のなか、当社グループは「中期計画2020」の基本方針である「成長市場における事業拡大」、「既存ビジネスでの競争力強化」に基づき、企業価値向上への施策を着実に進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.4%増の2,524億円、営業利益は同13.9%増の126億円となりました。経常利益は、持分法適用関連会社の利益が減少したことなどにより、同25.1%減の93億円となり

ました。また、法人税等が同32.8%増の53億円となったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は同79.6%減の16億円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による当期間における当社グループへの主な影響は次のとおりです。自動車関連製品およびサービスの売上比率が高い熱処理部門と金属加工部門では、自動車生産台数の世界的な減少によって当第1四半期において販売が大きく減少しましたが、当第2四半期において回復に転じました。

また、持分法適用関連会社では、製錬部門のロス・ガトス鉱山(メキシコ)が2020年4月中旬から同年5月末まで一時的に操業を停止し、主要セグメントに含まれない藤田観光(株)は宿泊者などが減少した影響を受けました。

(単位:億円)

	2019年度 上期実績	2020年度上期		増減	
		計画※	実績	前年同期比	計画比
売上高	2,307	2,275	2,524	216	249
営業利益	110	66	126	15	60
経常利益	124	34	93	△31	59
親会社株主に帰属 する四半期純利益	79	△10	16	△63	26

※2020年8月7日公表値

今後の取り組み

部門	中期計画2020の基本方針	担当事業	取り組み
環境・リサイクル	成長市場における事業拡大	海外事業	タイにおける有害廃棄物の処理拡大、インドネシアやタイにおける廃棄物処理施設の新設・拡張および業容の拡充
		廃棄物処理事業	低濃度PCB廃棄物をはじめとする難処理廃棄物の処理拡大、溶融・再資源化の拡大に向けた廃棄物の増集荷、原料前処理設備の建設
	既存ビジネスでの競争力強化	土壌浄化事業	自然由来汚染土壌に対応した浄化法による受注拡大、国内の埋立処分場の新設・拡張
		リサイクル事業	リサイクル原料のグローバルな集荷の拡大、自動車リサイクル、家電リサイクルにおける処理推進
製錬	成長市場における事業拡大	PGM(白金族)事業	使用済み自動車排ガス浄化触媒の集荷拡大に向けた海外における原料集荷・サンプリング拠点の拡充
		亜鉛事業	亜鉛の増産に向けた原料中不純物除去設備の建設
	既存ビジネスでの競争力強化	貴金属銅事業	小坂製錬(株)におけるリサイクル原料など多様な原料の処理推進、高純度すずの拡販
		亜鉛事業	自社製錬所向け原料の長期的な安定確保に向けたロス・ガトス鉱山の安定的な商業生産、パルマー亜鉛・銅プロジェクトにおける探鉱活動の継続的推進
電子材料	成長市場における事業拡大	半導体事業	ウェアラブル機器向けの近赤外LEDの顧客認定取得と量産設備の建設
		電子材料事業	発電効率の高い新型太陽光パネル向け銀粉の拡販、コンデンサなどの電子部品向け導電性アトマイズ粉の拡販
		機能材料事業	次世代のアーカイブ用データテープ向け磁性粉の拡販、燃料電池材料の拡販
		研究開発	ナノ銀粉の拡販など新規製品の早期事業化
金属加工	成長市場における事業拡大	伸銅品事業	自動車の電動化・知能化や情報通信関連機器の需要拡大を捉えた高特性銅合金の拡販、国内拠点の設備増強と増産、中国第2加工拠点の立ち上げ
		めっき事業	メキシコならびにタイ拠点の本格稼働、日本やタイのめっきラインの生産性向上と増産
		回路基板事業	主力製品および新規製品の増産、鉄道向けおよび自動車向けの拡販
熱処理	成長市場における事業拡大	工業炉事業	自動車部品メーカー向け需要取り込みに向けた製品ラインナップの拡充、メンテナンス事業の収益力強化
		熱処理事業	国内拠点の生産性向上と増産、インドにおける新拠点の立ち上げ、中国・タイ・インドネシアにおける先行投資と収益力強化



インドネシアで導入予定の焼却炉
(シンガポールの焼却炉と同タイプ)



銀粉



めっきのタイ拠点

2020年度(2021年3月期)の見通し

当第3四半期連結期間以降の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた自動車関連製品およびサービスの販売は回復基調が継続すると想定しています。また、情報通信関連製品や新エネルギー関連製品、環境・リサイクル関連サービスは足元の堅調な状況が継続すると想定しています。持分法適用関連会社については、主に海外亜鉛鉱山の運営会社の業績向上を見込んでい

ます。相場については、為替は105円/米ドル、金属価格は当第2四半期末と同等の水準を前提としています。

これらの結果、2021年3月期の通期業績予想につきましては、売上高、営業利益は前期実績を上回り、経常利益は前期と同水準の290億円となる見通しです。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

損益計算書

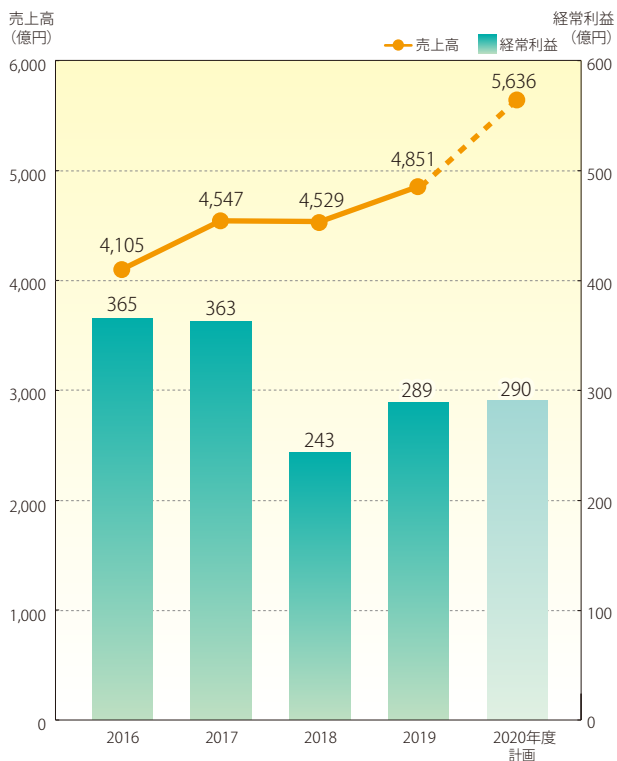
(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度 計画	増減
売上高	4,851	5,636	784
営業利益	259	313	53
経常利益	289	290	0
親会社株主に 帰属する当期純利益	173	120	△53

為替相場、金属価格

	2019年度		2020年度	
	上期実績	下期実績	上期実績	下期前提
為替 (¥/\$)	108.6	108.8	106.9	105.0
銅 (\$/t)	5,956	5,763	5,931	6,500
亜鉛 (\$/t)	2,554	2,256	2,150	2,400

これまでの業績推移と2020年度の計画



ロス・ガトス鉱山（メキシコ）が本格稼働

● 鉱山開発による亜鉛鉱石の安定調達

私たちの生活に欠かせない金属のひとつとして、ビルや橋などのインフラ、自動車などに鋼材の錆を防ぐめっきとして使用される亜鉛があります。当社は単独の製錬所として日本一の亜鉛生産量を誇る秋田製錬(株)を保有しており、主要原料である亜鉛鉱石を長期的・安定的に調達することが、重要な課題の一つです。

当社は、この課題を解決するため、海外鉱山の開発に取り組んできました。鉱山開発は探鉱から本格操業に至るまで10年以上の長い期間が必要であり、かつ多くの費用がかかります。従って、鉱山を開発するときには以下のポイントを重視しています。

- ① カントリーリスクが比較的低い国であること
- ② DOWA独自の製錬・リサイクル複合コンビナートに適した鉱石であること

このポイントを満たしたのが、メキシコのロス・ガトス銀・亜鉛・鉛プロジェクト（現在のロス・ガトス鉱山）でした。当社は2014年に同プロジェクトへの参加を決め、鉱山開発を進めてきました。

亜鉛の主な用途

鋼材の防錆めっきに用いられます



亜鉛のインゴット



自動車のボディ



ビルや橋などの鉄骨

鉱山開発はまちづくり

鉱山は社会インフラが十分でない環境で開発する例が多く、ロス・ガトス鉱山の開発では、水道、電気、道路などの整備や従業員の宿舎、厚生施設、地域の人たちが利用できるクリニックの建設などのまちづくりにも取り組み、地域社会との共生を目指しています。



地域の子供たちとクリスマスを祝う



●ロス・ガトス鉱山の立ち上げ

ロス・ガトス鉱山は、約5年におよぶ埋蔵鉱量の確認と経済性評価を行った後、2017年から約2年かけて、鉱山設備の建設や従業員宿舎など周辺インフラの整備を行いました。その後、段階的に生産量を上げ、2020年の年頭から商業生産に移行し、秋田製錬(株)へ亜鉛鉱石の供給を開始しました。

メキシコでの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月中旬から約1ヵ月半の間、操業を停止しましたが、感染症対策を講じ通常操業に戻りました。



ロス・ガトス鉱山の全景



鉱石粉碎設備



選鉱設備

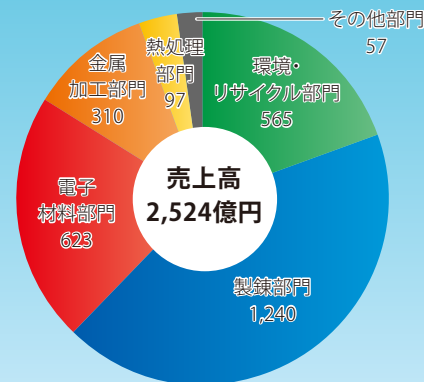


出荷作業

当社は、ロス・ガトス鉱山で今後も生産量を拡大する取り組みを進め、亜鉛鉱石の安定調達に注力し、私たちの生活に不可欠な金属のひとつである亜鉛を社会へ供給する責任を果たしていきます。

部門別の営業状況

部門別連結売上高構成 (2020年度 中間期)



※各部門の売上高には、連結調整による消去分369億円を含んでいます。



環境・リサイクル部門

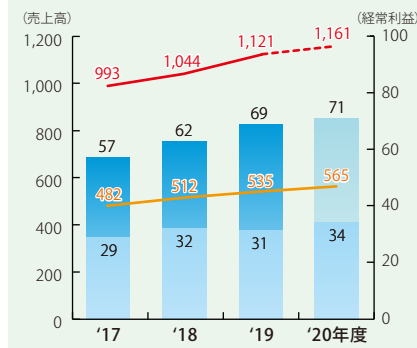
廃棄物処理事業では焼却の処理量が減少したものの処理単価が堅調でした。また、熔融・再資源化の処理量が増加しました。土壌浄化事業では受注が増加しました。リサイクル事業ではリサイクル原料の集荷量および自動車リサイクルの処理量が前年同期並みとなり、家電リサイクルの処理量が増加しました。海外事業では売上高が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比5.7%増の565億円、営業利益は同7.1%増の36億円、経常利益は同7.7%増の34億円となりました。



家電リサイクル

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



製錬部門

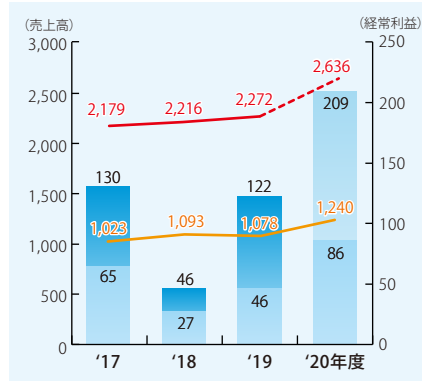
貴金属銅事業では銅の生産量が前年同期並みとなりました。PGM事業では使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が増加しました。亜鉛事業では製錬原料の購入条件が改善し、亜鉛のたな卸資産の簿価切り下げ額による損失幅が縮小しました。これに加え、製錬部門は、金、銀、PGM(白金族)などの貴金属価格が前年同期比で上昇した影響を受けました。一方、持分法適用関連会社では、新型コロナウイルス感染症対策によるロス・ガトス鉱山の一時的な操業停止やメキシコペソ安の影響などにより、MINERA PLATA REAL, S. DE R.L. DE C.V.およびMINERA TIZAPA, S.A. DE C.V.が減益となりました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比15.0%増の1,240億円、営業利益は同126.4%増の77億円、経常利益は同84.1%増の86億円となりました。



使用済み自動車排ガス浄化触媒

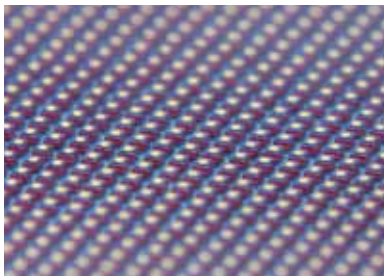
売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



電子材料部門

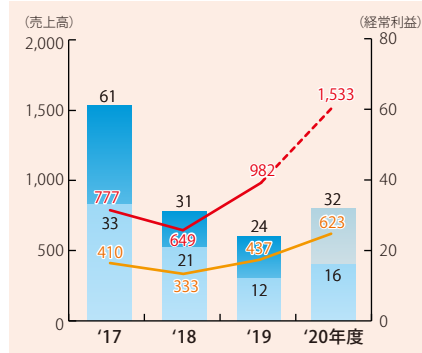
半導体事業ではLEDの販売が医療機器用途などで増加しました。電子材料事業では太陽光パネル向け銀粉の販売が増加しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。新規製品開発では導電性アトマイズ粉の商業生産を開始し、ナノ銀粉の特性向上と量産化に注力しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比42.4%増の623億円、営業利益は同48.3%増の9億円、経常利益は同33.3%増の16億円となりました。



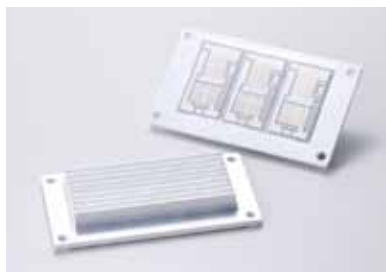
LEDチップ

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



金属加工部門

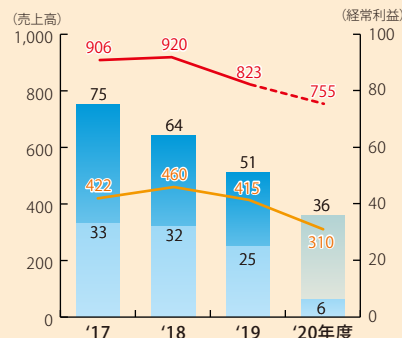
伸銅品事業では当第1四半期連結会計期間において自動車向けの販売が大きく減少しましたが、当第2四半期連結会計期間において回復に転じました。また、第5世代移動通信システム(5G)向けの販売が堅調に推移しました。めっき事業では伸銅品事業と同様、自動車向けの販売が大きく減少したものの、回復に転じました。回路基板事業では鉄道向けや産業機械向けの販売が堅調に推移しました。



金属-セラミックス基板

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比25.1%減の310億円、営業利益は同75.7%減の5億円、経常利益は同72.3%減の6億円となりました。

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



熱処理部門

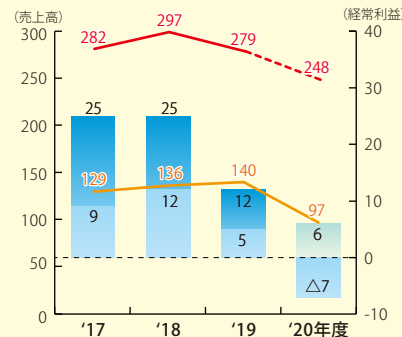
熱処理事業では世界的に自動車生産台数が減少した影響を受け、当第1四半期連結会計期間において国内外の拠点における受託加工数量が大きく減少しましたが、当第2四半期連結会計期間において日本、中国、米国、インドなどでの受託加工数量が回復に転じました。工業炉事業では新規設備および設備メンテナンスの受注が減少しました。



熱処理加工品

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比30.8%減の97億円、営業損益は同13億円減の7億円の損失、経常損益は同13億円減の7億円の損失となりました。

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



地図で見るDOWAグループ

DOWAエコシステム(株)

- 1 蘇州同和資源综合利用有限公司(中国)
- 2 PT. PRASADHA PAMUNAH LIMBAH INDUSTRI (インドネシア)
- 3 Modern Asia Environmental Holdings Pte. Ltd. (シンガポール)
- 4 WASTE MANAGEMENT SIAM LTD. (タイ)
- 5 BANGPOO ENVIRONMENTAL COMPLEX LTD. (タイ)
- 6 EASTERN SEABOARD ENVIRONMENTAL COMPLEX CO., LTD. (タイ)
- 7 GOLDEN DOWA ECO-SYSTEM MYANMAR COMPANY LIMITED (ミャンマー)

DOWAメタルマイン(株)

- 8 バンクーバー事務所(カナダ)
- 9 Cariboo Copper Corporation (カナダ)
- 10 NIPPON PGM AMERICA, INC. (アメリカ)
- 11 メキシコ事務所
- 12 MINERA TIZAPA, S.A. DE C.V. (メキシコ)
- 13 MINERA PLATA REAL, S. DE R.L. DE C.V. (メキシコ)
- 14 Nippon PGM Europe s.r.o. (チェコ)
- 15 DOWA METALS & MINING (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 16 DOWA METALS & MINING AMERICA INC. (アメリカ)
- 17 スペイン事務所

DOWAメタルテック(株)

- 18 同和金属材料(上海)有限公司(中国)
- 19 同和新材料(上海)有限公司(中国)
- 20 同和金属技術(南通)有限公司(中国)
- 21 DOWA METALTECH (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 22 DOWA Precision (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 23 DOWA METALTECH CHONBURI Co., LTD. (タイ)
- 24 同和利精密部品股份有限公司(台湾)
- 25 DOWA METALTECH MEXICO, S.A. de C.V. (メキシコ)

DOWAサーモテック(株)

- 26 DOWA THT AMERICA, INC. (アメリカ)
- 27 昆山同和熱処理工業有限公司(中国)
- 28 DOWA Thermotech (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 29 HIGHTEMP FURNACES LTD. (インド)
- 30 PT. DOWA THERMOTEC INDONESIA (インドネシア)
- 31 PT. DOWA THERMOTEC FURNACES (インドネシア)
- 32 DOWA THERMOTEC MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ)

その他

- 33 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION (アメリカ)
- 34 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION サンノゼ事務所(アメリカ)
- 35 同和企業管理(上海)有限公司(中国)
- 36 同和企業管理(上海)有限公司 深圳分公司(中国)
- 37 DOWA HD Europe GmbH (ドイツ)
- 38 DOWA HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

DOWAエコシステム(株)

- 1 グリーンフィル小坂(株)
- 2 エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場
- 3 エコシステム小坂(株)
- 4 オートリサイクル秋田(株)
- 5 環境技術研究開発センター
- 6 エコシステム秋田(株)
- 7 エコシステム花岡(株)
- 8 ㈱エコリサイクル
- 9 DOWA通運(株)
- 10 ㈱相双スマートエコカンパニー
- 11 メルテックいわき(株)
- 12 メルテック(株)
- 13 エコシステムリサイクリング(株) 東日本工場
- 14 エコシステムジャパン(株)
- 15 ジオテクノス(株)
- 16 イー・アンド・イー ソリューションズ(株)
- 17 エコシステム千葉(株)
- 18 エコシステム山陽(株)
- 19 岡山融油(株)
- 20 エコシステムリサイクリング(株) 西日本工場
- 21 エコシステム岡山(株)
- 22 バイオディーゼル岡山(株)
- 23 光和精鉱(株)
- 24 アクトビリーサイクリング(株)

DOWAエレクトロニクス(株)

- 39 半導体材料研究所
- 38 DOWAセミコンダクター秋田(株)
- 37 電子材料研究所
- 36 DOWAエフテック(株)
- 39 機能材料研究所
- 40 DOWAエレクトロニクス岡山(株)
- 41 DOWA IPクリエイション(株)

DOWAメタルテック(株)

- 42 新日本プラス(株)
- 43 豊栄商事(株)
- 44 DOWAハイテック(株)
- 45 DOWA/パワーデバイス(株)
- 46 技術センター
- 47 DOWAメタル(株)
- 48 DOWAメタニクス(株)
- 49 TD/パワーマテリアル(株)

DOWAサーモテック(株)

- 50 DOWAサーモエンジニアリング(株) 本社
- 51 DOWAサーモエンジニアリング(株) 真岡工場
- 52 DOWAサーモエンジニアリング(株) 太田工場
- 53 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松工場
- 54 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場
- 55 DOWAサーモエンジニアリング(株) 中京半田工場
- 56 DOWAサーモエンジニアリング(株) 滋賀工場
- 57 ㈱セム
- 58 東興興産(株)

その他

- 59 DOWAテクノリサーチ(株)
- 60 卯根倉鉱業(株)
- 61 秋田工管(株)
- 62 DOWAテクノロジー(株) 関東テクノセンター
- 63 本社
- 64 DOWAグループ名古屋支店
- 65 DOWAグループ大阪支店
- 66 DOWAテクノロジー(株) 西部テクノセンター
- 67 DOWAテクノエンジ(株)
- 68 陽和工管(株)
- 69 DOWA興産(株)
- 70 DOWAグループ九州支店

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2019年度 2020.3.31	2020年度 中間期 2020.9.30	比較増減
資産の部			
流動資産	242,143	253,869	11,725
現金及び預金	31,730	38,394	6,663
受取手形及び売掛金	75,130	62,348	△12,782
たな卸資産	115,303	139,180	23,876
その他流動資産	19,978	13,946	△6,031
固定資産	270,352	269,795	△556
有形固定資産	153,336	159,643	6,307
無形固定資産	7,502	7,025	△477
投資その他の資産	109,513	103,126	△6,386
資産合計	512,495	523,664	11,169

(単位:百万円)

科目	2019年度 2020.3.31	2020年度 中間期 2020.9.30	比較増減
負債の部			
流動負債	156,786	182,607	25,821
支払手形及び買掛金	34,480	39,729	5,248
短期借入金	40,105	46,759	6,654
コマーシャル・ペーパー	24,000	31,000	7,000
その他流動負債	58,200	65,118	6,918
固定負債	97,467	88,137	△9,330
社債	20,000	20,000	—
長期借入金	49,981	40,870	△9,110
その他固定負債	27,486	27,267	△219
負債合計	254,254	270,745	16,490
純資産の部			
株主資本	241,582	237,736	△3,845
資本金	36,437	36,437	—
資本剰余金	25,928	25,928	—
利益剰余金	184,927	181,082	△3,844
自己株式	△5,711	△5,711	—
その他の包括利益累計額	6,464	3,307	△3,157
非支配株主持分	10,194	11,874	1,680
純資産合計	258,241	252,919	△5,321
負債純資産合計	512,495	523,664	11,169

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2019年度 中間期 2019.4.1~ 2019.9.30	2020年度 中間期 2020.4.1~ 2020.9.30	比較増減
売上高	230,782	252,479	21,696
売上原価	201,270	221,193	19,923
売上総利益	29,512	31,285	1,773
販売費及び一般管理費	18,433	18,666	232
営業利益	11,078	12,619	1,540
営業外収益	3,284	3,376	91
営業外費用	1,910	6,666	4,756
経常利益	12,453	9,328	△3,124
特別利益	408	111	△296
特別損失	417	662	245
税金等調整前四半期純利益	12,444	8,777	△3,666
法人税等	3,996	5,306	1,310
非支配株主に帰属する四半期純利益	523	1,854	1,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,924	1,616	△6,308

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2019年度 中間期 2019.4.1~ 2019.9.30	2020年度 中間期 2020.4.1~ 2020.9.30	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,895	23,353	1,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,796	△16,867	4,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,085	△436	△6,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	△278	△402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,308	5,772	△536
現金及び現金同等物の期首残高	19,002	30,232	11,229
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	383	1,479	1,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,694	37,483	11,789

取締役・監査役



代表取締役会長

山田 政雄



代表取締役社長

関口 明



取締役

光根 裕



取締役

松下 克治



取締役

加賀谷 進



取締役

川口 純



社外取締役

細田 衛士



社外取締役

小泉 淑子



社外監査役(常勤)

小林 英文



監査役(常勤)

木下 博



社外監査役

武田 仁



社外監査役

江川 茂

執行役員



執行役員
DOWAエコシステム(株)
代表取締役社長

飛田 実



執行役員
DOWAメタルマイン(株)
代表取締役社長

須山 俊明



執行役員
DOWAエレクトロニクス(株)
代表取締役社長

鈴木 浩二



執行役員
DOWAメタルテック(株)
代表取締役社長

菅原 章



執行役員
DOWAサーモテック(株)
代表取締役社長

辻 隆治



執行役員
DOWAテクノロジー(株)
代表取締役社長

山田 潔



執行役員
DOWAマネジメントサービス(株)
代表取締役社長

若林 英一

会社概要・株式の状況 (2020年9月30日現在)

会社概要

創業	1884年9月18日	主な事業内容 環境・リサイクル事業、 製錬事業、電子材料事業、 金属加工事業、 熱処理事業
設立	1937年3月11日	
資本金	364億37百万円	
DOWAグループ の社員数	約7,200人	

株式の状況

会社が発行する株式の総数	200,000,000株
発行済み株式の総数	61,989,206株
株主数	10,196名

大株主

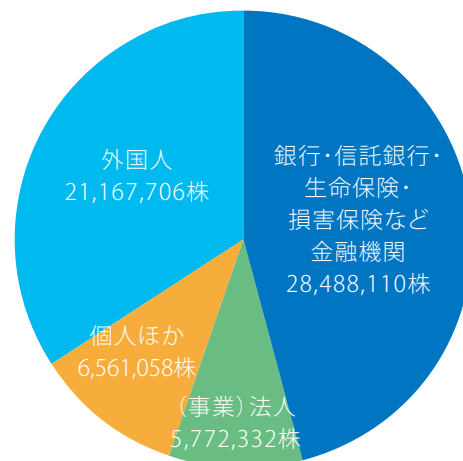
	持分比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12.35%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10.08%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6.18%
藤田観光株式会社	4.79%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3.49%
全国共済農業協同組合連合会	3.06%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	2.31%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1.73%
株式会社みずほ銀行	1.60%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1.54%

当社は自己株式1,888千株を保有しており、持分比率については、自己株式を控除しています。

主要子会社

DOWA エコシステム(株)	環境・リサイクル事業会社
DOWA メタルマイン(株)	製錬事業会社
DOWA エレクトロニクス(株)	電子材料事業会社
DOWA メタルテック(株)	金属加工事業会社
DOWA サーモテック(株)	熱処理事業会社

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移

当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合しました。このグラフは株価と出来高を併合後の数値に調整して表記しています。



株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公 告 方 法	電子公告 (https://www.dowa.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株 主 名 簿 管 理 人 および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵 便 物 送 付 先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
(ホームページアドレス)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <https://www.dowa.co.jp>

表紙写真：DOWAテクノロジー(株)関東テクノセンターの社員

